

暮らしと憲法を守る日本共産党の前進を！「六・一五演説会」に、あなたもご参加を！

「近所のみなさん、日本共産党です。」

いつせい地方選挙に続いて、七月五日公示、二十二日投票で、参議院選挙が行われます。日本共産党は、暮らしを守り、憲法と平和を守るために、全力をつくす決意です。

六月十五日(金曜日)には、さいたまスーパーアリーナを会場として、志位和夫委員長を迎えて、「大演説会」を開催します。お誘いあわせのうえ、是非、ご来場ください。

みなさん。

六月から、住民税の大幅な引き上げが行われようとしています。昨年に続く、二度目の引き上げです。

増税についてお知らせする「広報」を、ご覧になった方も、いらっしゃるのではないのでしょうか。

各地の「広報」を見ると、「税源移譲」、つまり、今まで所得税として納めていた分の一部を、住民税として納めるだけで、納める税金全体としては、変わりがないかのように書かれています。

しかし、みなさん。実際には、それにとどまらないから大変です。

所得税と住民税の定率減税が廃止されます。その結果、たとえば上尾市の場合で見ると、夫婦と子ども二人・年収七百万円のモデルケースで、年間四万一千円もの増税になります。高齢者の場合、老年者非課税措置が廃止になりますから、本当に大変です。

大企業が史上空前の規模の大もうけをあげる一方で、働く人達の収入は増えるどころか、減っているのが実情です。医療や年金、子どもの教育費など、負担も増える一方だというのに、それに追い討ちをかける増税を、黙って見過ごすわけにはいきません。

日本共産党は自民・公明の安倍内閣に向かって、「住民税増税やめよ」という声をつきつけるために、緊急署名運動にとりかかっています。ご協力をよろしくお願いいたします。

みなさん。暮らしが大変なとき、それに追い討ちをかけるような自民・公明の政治を続けさせてよいのか、今度の参議院選挙で問われます。日本共産党は、国民健康保険税や介護保険、子ども医療費などの、負担の軽減と改善のために、みなさんといっしょに頑張ってきました。参議院選挙は、悪政の大本を変える選挙です。日本共産党を大きくしてください。比例代表選挙では、日本共産党、埼玉選挙区では、あやべ澄子さんを、よろしくお願いいたします。

「近所のみなさん。」

憲法九条改悪のための、改憲手続き法案が、参議院の委員会で採決・強行され、来週草々に、本会議でも、強行されようとしています。与党の自民党と公明党に、民主党が妥協したからです。

みなさん。法案に、最低投票率の定めがないのは、大問題ではないでしょうか。憲法を変えるのに、有権者の一割台、二割台の賛成でもかまわないという、主権者国民をないがしろにする法律など、つくるべきではありません。

五月十日、さいたま市内で、改憲手続き法案について、広く県民の意見を聞く、「公聴会」が行われました。自民党推薦の口述人は、何と、**衆議院憲法調査委員会**・会長・中山太郎氏の元秘書で、四月の県会議員選挙で当選したばかりの田村たくみ県会議員でした。これは、最悪の「やらせ」ではないでしょうか。実際、田村県会議員は、「投票に行かない人には、消費税を上げるなど負担(ふか)を加えていく」などと、法案の不備を棚にあげて、筋違いの、とんでもない意見を述べていました。

審議のなかで、五百万人もの、公務員や学校の先生たちの、国民投票運動を制限する根拠がないことも、明らかにになりました。日本共産党の議員が、「憲法について語る事が、どうして職務の公正や中立性を害するのか」と質問すると、自民・公明の提案者は答えることができませんでした。

やりかたも、内容も、メチャクチャな**欠陥法案**、改憲手続き法案の採決・強行はやめよという声を、あげていこうではありませんか。

みなさん。

日本共産党は、日本を、アメリカと一緒に海外で武力行使が出来る国にする、憲法九条改悪にキツパリ反対です。**憲法九条**は、二十一世紀の世界をリードする、最も確かな外交の力です。

参議院選挙では、憲法九条を守る日本共産党をよろしくお願いします。ありがとうございました。